

# あじさい通りプロジェクト

地域交流

[ 代表者 ] 教育学部情報文化課程 1 年 福井 彩香

## [ 参加者 ]

井上 恭兵（教育学部・1 年）  
 小倉 いつ美（教育学部・1 年）  
 小野 千尋（教育学部・1 年）  
 河野 優里（教育学部・1 年）  
 塩田 智希（教育学部・1 年）  
 沼尻 薫（教育学部・1 年）  
 福井 彩香（教育学部・1 年）  
 前田 香織（教育学部・1 年）

いものとした。また、活動をしていく中で、通行人とのコミュニケーションや激励の差し入れをいただくなど、予想外の効果も得られた。

今年は、さらに活動を進め、6 月に開催されるあじさい祭りの中のイベントとして、「シャッターペインティング」の企画を提案していきたいと考えている。1 つは、子供が原案を描きシャッターに色を塗る、親子のワークショップである。2 つ目は、「あじさい通り」周辺の中学・高校の美術部を対象にしたものである。この企画は現在、商店街に提案し検討中である。

## [ プロジェクトの成果 ]

茨城大学付近の地域の活性化と美術活動を目的として、末広町の「あじさい通り」に焦点を当て、「あじさい通り」を再認識し「あじさいまつり」を盛り上げるため、活動、企画を行った。

昨年、末広町商店会「幸月」の古田さんと話し合いを重ね、「あじさい通り」の商店街のシャッターにあじさいの絵を描いた。今回はメンバー全員がシャッターに絵を描くという作業が初めてであったということで、プレイベントとして実行した。下絵となる図案は学内から募集し、シャッターを提供していただいた方の希望によりメンバーで相談し選考した。それ以降の下絵を拡大し写し取る作業、実際に絵の具で書く、完成までの作業をメンバーで行った。今回作業をしてみることで、次回のイベントで小学生や中・高生が対象になることを考えた場合、どの段階から作業をしてもらうのか、どのくらいの人数なら作業できるのかなど、困難な点やさらに工夫すべき点、可能性などを見据えることができた。

一箇所でも空き店舗のシャッターに絵を描くことで商店街のポイントアクセントとなり雰囲気をも